

一 般 質 問 通 告 順 序 表

No.1 (3月4日)

番 号	質 問 者	質問の相手	質 問 の 要 旨
1	原 口 政 敏	市 長 教 育 長	<p>1. 通学路の安全対策について (1) 死亡事故があった国道 270 号弘山横断歩道に信号機を設置できないか伺う。 (2) 通学路の再検証が必要ではないか伺う。 (3) 小学校低学年の横断歩道の実習指導について伺う。</p> <p>2. 道徳教育について (1) 人の命を大切にする教育について伺う。 (2) 正確な歴史教育のあり方について伺う。(尖閣諸島・竹島)</p> <p>3. 市来漁港外港の浚渫について 漁船が通行出来ない状況である。対策を伺う。</p> <p>4. 大里川の大規模改修について 住民の意見を最大限尊重した工事は出来ないか伺う。</p> <p>5. 子供の生活支援について 生活困窮者の子供に対する支援対策について伺う。</p> <p>6. 介護保険制度について 特別養護老人ホームは、現在は要介護 1, 2 から入所する資格があるが、これからは要介護 3 以上に限定される。入所出来なくなる要介護 1, 2 の方々への対応について伺う。</p>
2	西 中 間 義 徳	市 長 教 育 長	<p>1. 地方創生について (1) 地方創生を推進する組織・人材について、どのように考えているか伺う。 (2) 周辺市との連携について伺う。 (3) 市内への転入促進について、どのように考えているか伺う。 (4) プレミアム商品券の発行と規模について伺う。</p> <p>2. 認知症対策について (1) 認知症患者の行方不明の現状について伺う。 (2) 在宅医療、在宅介護を進める中で、認知症患者を支える地域ボランティアについて伺う。 (3) 在宅医療、在宅介護の 24 時間体制について伺う。</p> <p>3. 通学路の安全対策について 通学路の安全点検の課題についてどのように取り組んだか伺う。</p> <p>4. ICT教育について (1) 電子黒板の活用について伺う。 (2) タブレット端末を利用した授業をする考えはないか伺う。</p>
3	濱 田 尚	市 長 教 育 長	<p>1. 交通安全対策について (1) 平成 24 年に通学路の安全点検が実施された。その結果を受けてのこれまでの対応や今後の対策について伺う。 (2) 交通事故撲滅に向けての活動や取り組み等、行政としてどのように進めていくか伺う。</p> <p>2. 街路樹及び公共施設等の樹木の管理について (1) 街路樹は植栽されてから大きく成長している。定期的な管理や必要性について検討すべきではないか伺う。 (2) 公共施設や学校などの樹木の管理は十分か伺う。</p>

4	東 育 代 市	長	<p>1. 共生協働のまちづくり推進事業について</p> <p>(1) 地域の敬老祝金交付金について伺う。 (2) 行政嘱託員制度について伺う。 (3) 地区担当職員制度について伺う。 (4) 地区まちづくり協議会非常勤職員設置について伺う。 (5) 交流センターの設置状況について伺う。</p> <p>2. 海浜児童センターの周辺整備について</p> <p>(1) 海浜児童センターの利用状況について伺う。 (2) 老朽化している海浜児童センターについて、どのように考えるか。</p>
---	---------	---	---

一般質問通告順序表

No.2 (3月5日)

番号	質問者	質問の相手	質問の要旨
1	竹之内 勉	市長 教育長	<p>1. 少子高齢人口減少時代へ向けたまちづくりについて</p> <p>(1) 地方版総合戦略の取り組みについて伺う。 (2) コンパクトシティにおける地方部の取り組みについて伺う。</p> <p>2. 林業振興について</p> <p>(1) 市内各林道の利用区域は計画通り利用されているか。 (2) バイオマス発電による本市林家への好影響はあるか。 (3) 新港より中国向け木材が不定期で輸出されているが、本市の木材の集荷状況はどうか。 (4) 皆伐後の植林奨励施策について伺う。 (5) 林業技術員の育成について伺う。</p> <p>3. 串木野高校支援について</p> <p>(1) 特色ある学科、部活動について伺う。 (2) 遠方、離島の学生の受け入れ体制について伺う。</p>
2	中村 敏彦	市長	<p>1. 人口ビジョンと地方版総合戦略について</p> <p>(1) 「地方の活性化」「地域再生」「地方分権」などの呼び方で地方活性化施策が行われてきたにもかかわらず、地方の衰退に歯止めがかからなかったが、その原因についての基本的見解を伺う。 (2) 施策の主眼は2060年・1億人口の確保であるが、人口減少に歯止めをかける本市の課題は何か。 (3) 2つのビジョンを策定し、それぞれの自治体間で予算獲得合戦が行われると思うが、本市の特徴を生かした戦略をどのように考えているか伺う。</p> <p>2. 第6期介護保険事業計画について</p> <p>(1) 要支援1・2のサービスを地域へ移譲することを他に先駆けて平成27年度から移行する理由は何か。 (2) 事業費削減のためにボランティアやNPOにサービスをゆだねる計画であるが、「受け皿」の見通しやサービス低下の懸念はないか。 (3) 第6期介護保険事業計画による各施設への影響と介護職員の処遇改善は可能か。</p> <p>3. ごみの戸別収集について</p> <p>(1) ごみ収集の方法について、平成26年9月議会で研究する必要があるとしているが、検討はなされているか伺う。 (2) 要援護者対策としてのごみ収集方法の検討はできないか。</p>

3	中里 純人	市長 教育長	<p>1. 地方創生について</p> <p>(1) 地方創生についてどのような認識か。</p> <p>(2) 過去の様々な地方活性化策が人口増加につながらなかったが、課題は何か。</p> <p>(3) 本市の重点施策をどう考えるか。海の恵みを活かした漁業振興が第一と考えるがいかがか。</p> <p>(4) 総合戦略の推進体制はどうか。</p> <p>(5) 中・長期的な人口ビジョンと第二次総合計画との整合性をどう図るか。</p> <p>2. 戦後 70 年に向けて</p> <p>(1) 風化する戦争体験を残すための取り組みをどう考えるか。</p> <p>(2) 8月15日の戦没者追悼式での子ども達による「平和への誓い」の取り組みは考えられないか。</p>
4	西別府 治	市長	<p>1. 深田上地区の棚田活用拡大について</p> <p>(1) 棚田の現状について</p> <p>① 日照や気象等、立地環境と耕作状況について伺う。</p> <p>② 地域耕作者の年齢構成や今後の継続性について伺う。</p> <p>③ 環境保全と観光振興や棚田米など、地域おこしについて伺う。</p> <p>2. 神村学園前駅周辺まちづくり計画の進捗状況について</p> <p>(1) 計画の進捗について</p> <p>① 交通体系の整備について伺う。</p> <p>② 都市施設整備について伺う。</p> <p>(2) 土地利用で駅東側開発促進区域の設定について</p> <p>① 設定と民間活力を活用した開発について伺う。</p> <p>② まちづくり計画と地方創生の活用について伺う。</p>

一 般 質 問 通 告 順 序 表

No.3 (3月6日)

番 号	質 問 者	質問の相手	質 問 の 要 旨
1	福 田 道 代	市 長 教 育 長	<p>1. 交通安全対策について (1) 通学路の徹底見直しが必要ではないか伺う。 (2) 安全運転の徹底について、市として何らかの取り組みはできないか伺う。</p> <p>2. 川内原発1・2号機の再稼働問題について (1) 避難計画の進捗状況について伺う。 (2) 使用済核燃料の処理対策についての市長の見解を伺う。</p> <p>3. 介護保険制度について (1) 過去最大規模の介護報酬の削減が行われるが、これまで通りの介護サービスは実現可能か。 (2) 利用者の介護保険料引き上げに伴い、介護難民を生み出さないか。</p> <p>4. 空き家対策について 「空家等対策計画」の策定について伺う。</p>
2	田 中 和 矢	市 長	<p>1. 行方不明者の対策について 高齢者や認知症による徘徊、その他で行方不明者になるケースが増えている。早く、そして確実に捜し出す方法としてGPS等の導入はできないか伺う。</p> <p>2. 公開討論会の実施について 原発再稼働に関する説明会等が数回実施されたが、市民は理解、納得したとは到底言い難い。住民と十分に話し合える公開討論会を行うべきでないか伺う。</p>
3	宇 都 耕 平	市 長	<p>1. いちき串木野市制施行 10 周年記念事業の計画と現在の進捗状況について 現在、実行委員会によって検討され、10月11日の記念式典に向け取り組まれていると思うが、現況を伺う。</p> <p>2. 市来海岸の海砂の崩壊対策について 海砂流出により海岸の幅が狭くなり、浜崖になっており、日本三大砂丘の一つである市来海岸（吹上砂丘）の景観が損なわれている。何らかの対策が必要ではないか。</p> <p>3. 川南ほ場整備に伴う用排水路改修工事について 川南ほ場整備事業の中で中心になる用水路は、現状のまま修理し使用すると説明を受けたが、整備された約50haに対する用水対応は難しいのではないか。また、農閑期の流水対策として、末端まで水が流れるような新たな事業の導入は考えられないか。</p> <p>4. 川南交流センターの駐車場スペース確保について 現在の駐車スペースは、多くて10台がせいぜいである。あとは国道270号に駐車している現状であり、手狭である。駐車場の確保を検討できないか。</p> <p>5. 市来分遣所の存続について 市来地域の住民は、市来分遣所については存続することを前提としている。このことについては、合併時に確認済みと私は考える。今になってなぜこのような事が出てくるのか、市来地域の住民にとっては理解できないが、市長はどのように考えているか。</p>